

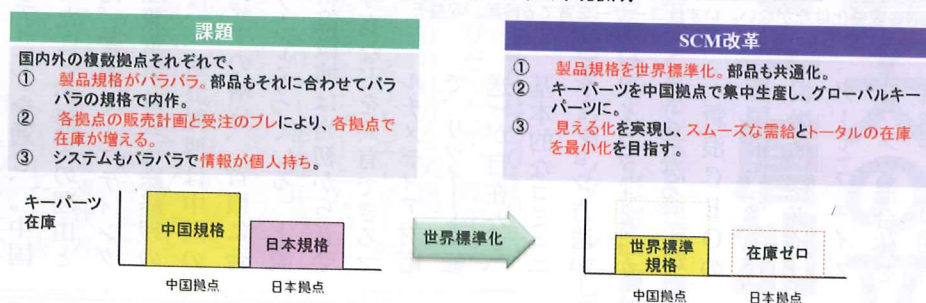
アスプローバの「Asprova SCM」

日系製造業の要望もとに開発 日中工場の生産計画連動を実現

システムインテグレーションのアスプローバの現地法人、派程(上海)軟件科技有限公司が2月、サプライチェーンの最適化を支援する「Asprova SCM(アスプローバSCM)」の中国語版の提供を開始する。グローバル展開を進める日系製造業500社の要望をもとに開発した製品で、日本と中国の工場の生産計画を連動させることが可能という。

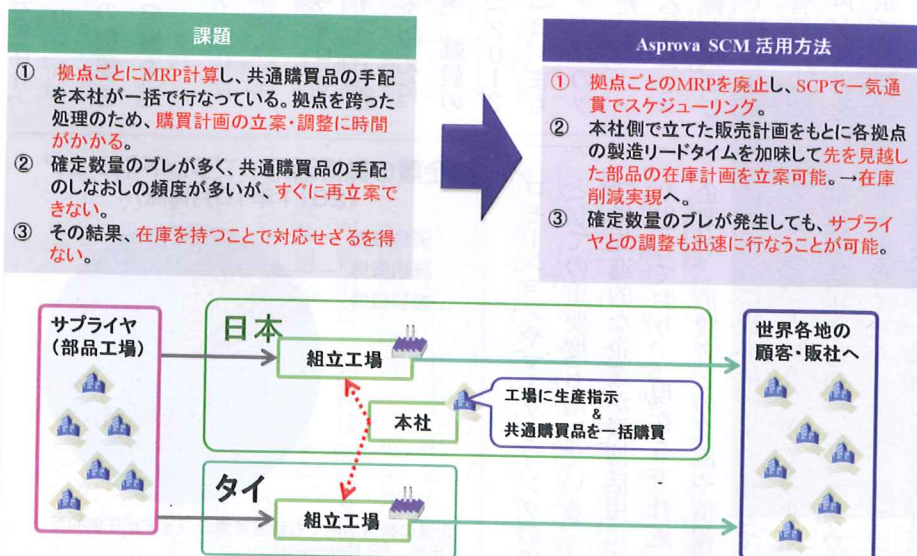
アスプローバSCMは、同社の中国進出のきっかけともなった製品だ。計画面から企業のキャッシュフローを改善するツールとして、昨年は複数の顧客企業が日本の国内工場に導入したという。今年是中国での製品提供を開始することで、顧客企業における中国工場と本社工場との連携を実現し、真のサプライチェーンシステム構築をサポートしていく考えだ。

【図1】中国でのキーパーツ集中生産による在庫削減



➡ グローバルSCM体制を支えるITシステムの構築にAsprova SCMに白羽の矢が立つ

【図2】SCPで3拠点を一気通貫にスケジューリング



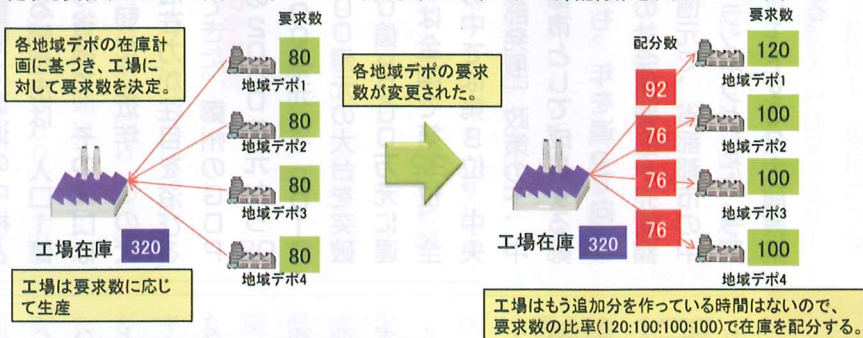
アスプローバSCMは、中国という広大な国土に点在する工場間の物流を最適化する。昨年の東日本大震災のような災害時でも、複数の危機対応プランを即時に作成し、工場の生産活動の継続を強力に支援する。

アスプローバSCMはグローバル対応製品として、英語での提供も検討している。同社はすでに、生産スケジューラ「Asprova SCP(アスプローバSCP)」を世界の工場へロールアウト導入した実績が多数ある。アスプローバSCMは、スケジュールを束ねる計画手段とも言える製品となる。

【図3】在庫不足時の複数配送先への供給配分

供給配分: (この機能は、供給配分オプションの機能です)

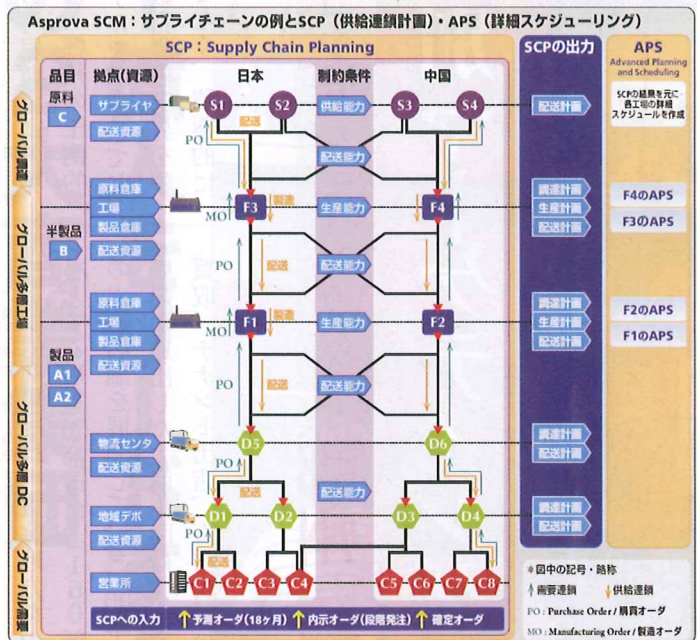
複数の配送先に対し、輸送リードタイムなどを加味しながら、限られた在庫をどのように配分するかを決定する実行形の処理です。このケースでは、要求数の比率によって、配分率を決定しています。



品目	デパート	2008年	2009年	2009年	2009年	2009年
1	AI	24	25	26	27	28
2	商業実績	0	0	2	5	20
3	安全在庫計画	0	0	0	0	0
4	在庫(出庫前)	0	0	2	2	20
5	在庫(出庫後)	0	0	0	0	0
6	欠品数	0	0	0	3	0
7	充足率(%)	100	100	100	40	100
8	欠品率(%)	0	0	0	60	0

左図のようなPSI表を用いて、各拠点の在庫や欠品数を計上します。

【図4】工場からデポ搬送までのシステム全構成図



【図5】ビジュアルで使いやすいシステム画面

品目	供給	納品先	数量	配分率	4/1(土)	5/1(日)	6/1(水)	7/1(金)	8/1(土)	9/1(日)	10/1(月)
PCBA-assyH	中国H	SP3(香港)	400	¥70,000							
		F4(FC)	400	¥90,000							
		F4(FC)	400	¥140,000							
Mechanical Parts G	香港G	F1(TT)	800	¥0							
Mechanical Parts F	中国F	F1(TT)	800	¥0							
Mechanical Parts E	日本E	SP2(大井)	800	¥20,000							
		F1(TT)	800	¥0							
Mechanical Parts D	中国D	SP2(大井)	800	¥20,000							
		F1(TT)	800	¥0							
Mechanical Unit V1	中国D	F1(TT)	2000	¥20,000							
		F4(FC)	400	¥160,000							
Optical Parts C	日本C	F4(FC)	400	¥210,000							
Optical Parts B	中国B	SP2(大井)	800	¥20,000							
		F4(FC)	800	¥0							
Optical Sub-assy B	中国B	F4(FC)	400	¥0							
Optical Parts A	日本A	SP2(大井)	400	¥20,000							
		F4(FC)	400	¥0							
Optical Unit	中国B	SP2(大井)	400	¥20,000							
Product F4-V1	中国B	F4(FC)	400	¥160,000							
		F4(FC)	400	¥930,000							
		G1(需給管理)	400	¥950,000							

日本の工場と海外工場の関係は、貿易自由化の波を受け、これまでのような人件費の削減を狙った上下関係の工場配置ではなく、現地生産・現地販売型の配置が主流になっていくものと想定される。しかし、特に製品寿命の短いデジタル製品は、各国で同じ製品を生産できる反面、市場の需要が読みにくい。そのため、各国のグループ企業間で製品余剰在庫のやり取りが不可欠となる。

セットメーカー間の競争では、コンシューマ製品のみならずコーポレート製品においても、製品の品質や価格での差別化が難しくなっており、顧客納期の短いものが売れていく傾向にある。この場合、在庫の見える化だけでは各国在庫の削減が不可能となるため、移動時間と費用を含めたトータルキャッシュフローの低減が求められるようになるはずだ。

サプライチェーンマネジメントシステムの構築を必要とされる企業様は、当社サイトをご参照ください。御社のプロトタイプデモを無償で作成させていただきます。

派程(上海)軟件科技有限公司

上海市中山西路1800号兆豐環球大廈5樓B室

☎ (021) 6440-1023

http://www.asprova.jp/scm/

info@asprova.com (日本語)

info@asprova.cn (中国語)